

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そだちの空間 LINKS名谷		
○保護者評価実施期間	令和7年10月18日		～ 令和7年11月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動プログラムの工夫	個別活動や集団活動を織り交ぜ、個々に応じた活動の立案に取り組んでいる	子ども達の特性に理解し、今後の活動プログラムも計画し立案していく
2	関係機関との連携を行っている	学校や相談支援員との情報共有や担当者会議・モニタリングを行い連携を取っている	統一した支援が行えるように、今後も連携を取っていく
3	法人内での交流の機会が設けられている	季節ごとのイベントや行事を行い、交流の機会を設けている	子ども達主体の行事が行われるように、交流の機会を重ね計画していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力を図るための全体での支援プログラム(ペアレントトレーニングなど)	個別での対応が多く、力をいれているため	今後、全体での支援を行えるように準備・検討を行っていく
2	保護者会・きょうだいの交流会などの支援	保護者会は開催したが、きょうだいの交流会等は出来ていないため	今後も保護者会を開催し、きょうだいの交流の機会を検討・開催できるように取り組んでいく
3	放課後児童クラブや児童館・地域の他の子どもとの交流会	近隣の事業所との交流の機会を設けることが出来たが、児童館や地域の子ども達との交流の機会はなかった	児童館や地域の子どもとの交流の機会が設けられるようにつながりを作っていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		そだちの空間LINKS 名谷		公表日 令和年月日				利用児童数	令和7年11月8日	回収数	19
		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応			
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない					
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				3階になり、更に広いスペースになって活動の幅も広がったと思います	十分な広さを確保しています			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	95%			5%	そう思います	法令で必要とされている職員の配置を行っています			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90%			10%	配慮されていると思います	子ども達が分かりやすいよう、視覚支援も取り入れ配慮を行っている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95%	5%			・トイレが男女分けてあればいいと思います ・絨毯の方がホット出来そうなきがします	日々の清掃・消毒を行い心地よく過ごせるように心がけています。また、スペースを分けマットを敷いて過ごしています			
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95%			5%	思います	職員間でのミーティングを行い情報共有し全体での理解に努めています			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95%			5%	合っていると思います	支援プログラムを元に支援方法や療育活動を決めています			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90%			10%	そう思います	今後も聞き取りを元にニーズや課題の分析し個別支援計画を作成していきます			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%			10%	思います	子どもの発達段階と障害特性の把握に努め、個々に応じた支援内容を具体的に示しています			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95%			5%	子どもの課題に向き合って対応・ご指導・支援をして下さっています	今後も子どもの課題に向き合いながら、職員全体で支援計画の把握に努め支援を行っていきたいと思います			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95%			5%	思います	毎月活動についての会議を行い、内容を検討・準備を行っています			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	90%			10%	交流があった	今年度は近隣の施設と交流を行いました。今後も交流の機会を設け行っていきます			
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95%			5%	契約時に説明がありました	必要に応じて随時説明も行います			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95%			5%	ありました	計画書をお渡しする際は内容の確認を行い出来る限り手渡しで行っています			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	95%			5%	研修会のお知らせが届いた	現在等施設での家族支援プログラムは行えていないが、研修会等の情報提供は行っている			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	95%			5%	日頃から丁寧にその日の活動の様子を教えてください	今後、日々の様子を伝えていくように努めています			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	85%	5%		10%	・入って間もないですが、面談の機会があると聞いてます ・定期的な回数だけでは、不安です	定期的な面談を6か月に1回行い、その他必要に応じて面談を行っています			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%			5%	そう思います	職員全体で情報共有を行い統一した支援が行えるように心がけています			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	58%	5%		37%	今年度、保護者会があった	今年度は保護者会を開催しました。来年度以降も開催を行います。また、きょうだい同士の交流の機会が持たなかったため今後設けていきたいです			
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	95%			5%	すぐに対応してくれています	今後も適切に対応を行っていききたいです				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				思います	今後も、職員全員が意思の疎通や情報伝達において配慮できるように努めます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	95%			5%	発信があります	定期的な発信と日々の活動の様子を発信しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				はい	職員全員研修を行い、周知を徹底している
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	95%			5%	説明がありました	引き続き周知を行い、職員には研修をし訓練を行っています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	80%			20%	活動で避難訓練を行ってくれています	毎月、防災や防犯などの訓練を行い年2回消火・通報・避難訓練を必ず行っています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90%			10%	思います	安全計画を作成し施設内での掲示を行い周知をしている
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85%			15%	はい	発生した場合には迅速に対応し、説明を行っている
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				安心して通い居場所になっています	今後も安心して過ごせる居場所になるように支援を行っていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90%	10%			先生やお友達に会えるのを楽しみに通っています	引き続き楽しみになるように関係構築支援を行っていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				子どものことを考えて下さって、本当に安心して預けられています。LINKS さんに出会えてよかったです	今後も満足して通っていただけますよう支援を行っていききたいと思います

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	そだちの空間 LINKS名谷		公表日		年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		学習・活動・遊びと時間や空間を決めて有効活用できるように配慮している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			法定基準の人数のみのため、緊急時の対応が難しいことが懸念されるため人員の補充も検討が必要		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	ワンフロアにトイレと生活スペースがあるため、移動がスムーズに行われる	トイレ前の段差や施設入り口までが階段のため見守りや援助が必要		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		日々、掃除や消毒を行い清潔を保ち、心地よく過ごせるように配慮している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		必要に応じてパーティションで区切られたスペースを使いクールダウンや個別での使用を行っている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		ミーティングや振り返りの時間に検証・改善に繋げている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		アンケートの結果をミーティング内で共有し、課題を整理し業務改善に繋げている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		ミーティングや振り返りの時間に意見交換を行っている	風通しの良い環境を心掛けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		現在、第三者による外部評価を導入していないため導入を検討していく		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部研修会・ズーム研修会や法人内研修などに参加をしている			
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		公表し支援プログラムに沿った支援を行っている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		定期的または必要に応じて面談・アセスメントを行っている			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員全員でモニタリング会議・支援計画会議を行い作成している			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		日々打ち合わせを行い、計画に沿った支援方針の共有を行っている	今後も強化していく必要がある		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		日々の行動観察や検査結果を用いて両方からアセスメントを行い全職員確認を行い周知している			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		子ども達の発達段階と障害特性の把握に努め、個々に応じた支援内容を示している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		職員全員で意見を交換し活動プログラムを作成している			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		個別活動と集団活動を織り交ぜて全員が療育活動に興味を持ち楽しみながら参加出来るように工夫している	子ども達の特性を理解し、活動を工夫していく		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		発達段階や特性に応じて、個別活動・集団活動を組み合わせた計画を作成し、計画に沿った支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		日々のミーティングを行い、その日の支援内容を確認・役割分担・活動時間などを確認しチームで連携している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		振り返りを行い、日誌等に記入し全職員が確認できるようにしている	当日のうちに共有出来ていない職員への伝達を必ず行うよう意識する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		個別記録・日誌・タブレットでの撮影で記録を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		6か月ごとのモニタリングを行い、達成度を確認し見直し等の検討を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		個々の状況に応じた様々な体験を活動に取り入れて、支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		それぞれの場面で自己選択の機会を設け、自己決定する力を養っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者や管理者、児童支援員が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		連携を取り体制を整えている	継続して行えるよう取り組む
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		下校時間や行事予定等はホームページを確認したり、送迎時に先生に確認を行う。また、リンクスの利用予定を渡し確認を行っている。時間があれば、様子などを伝え情報交換を行っている。	継続して連携を取り行う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	事前に情報共有を行うことは難しいがサポートブックなどを用いて共有出来るように連携を取った	今後も連携を取り情報共有に努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		100%		現在、卒業し移行する児童がいないため行っていない。スムーズに移行できるように相談支援専門員さんとの連携を取り今後行って行きたいと思っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	研修会等は積極的に参加している	今後必要に応じて、機会を設けていきたいと考えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		近隣の放課後等デイサービスとの交流を行っている	児童館などとの交流の機会がないため、今後検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		日程調整を行い、参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		連絡帳や送迎時に子どもの状況を伝え、日々の様子は写真を送りより伝わるように工夫を行っている。また、共通理解が持てるように面談等を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	研修会等のお知らせは共有できている	個別での支援は行っているが、全体への支援が出来ていないため行っていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に説明を行い、ご理解いただいている。変更時には文面にてお知らせを行った	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		事業所内での面談を行い、事前にアセスメントシートや子どもの様子を記入していただいている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		お渡しする際に内容を説明し出来る限り手渡しで行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		定期的な面接以外に、保護者様の話聞く機会をもち、支援と助言に取り組んでいます	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	保護者会の開催を行った	保護者会の開催は行っているが、きょうだい同士の交流の機会を今後準備し行えるように努める
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情があった場合は謙虚に受け止め、その事案に職員が迅速かつ適切に対応し保護者の不安解消に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		日々の様子をLINEにて発信し、毎月活動予定の配布を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		契約時に説明を行い、ご理解頂き同意を得ている。また、職員には研修を行い取り扱いに留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		子ども達には、視覚支援なども用いて伝えている。保護者には、時間帯を気にせず連絡が出来るようにLINEを活用していただいている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		現在は行えていない。今後、行事計画を立て開催できるように努めていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		それぞれのマニュアルを作成し、周知徹底を行っている。また、研修・訓練をおこなっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		BCPの作成を行い、職員全員での周知徹底・訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時に書面にも書いていただき確認を行い、必要な情報を全職員で共有を図っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%		現在、食物アレルギーをもつ利用児がいないため対応していないが、今後必要な場合を必ず対応を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を作成し、それに沿った研修・訓練等を行い危険察知に取り組んでいる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時に説明を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		日々の生活の中で起きるヒヤリハットを記録し検証・対策を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に研修を行っている	引き続き、研修を行い虐待についての意識を高めていく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約時に、身体拘束について説明を行っている。また、職員全体で研修を行い安全にサービスが提供出来るように努めている	今後も研修を行っていく	